

# 「みらいの森を育てようプラン」 ご寄附のお礼と使途のご報告

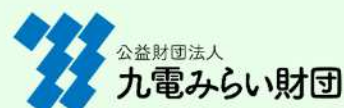
九州電力株式会社が提供する「みらいの森を育てようプラン」を通して  
九電みらい財団を応援いただき誠にありがとうございます！

2024年に皆さまからご寄附いただいた **1,315,500円**は、  
**当財団が取り組む環境活動に活用**させていただきました。

## 公益財団法人 九電みらい財団が取り組む環境活動



当財団は環境活動を通じて、よりよい九州の未来を創っていくための  
取組みを進めてまいりますので、  
引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



ずっと先まで、明るくしたい。

# 九電みらい財団の2024年諸活動のご紹介

## 九電みらいの森プロジェクト

「いさはや九電みらいの森（長崎県諫早市）」及び「きりしま九電みらいの森（鹿児島県霧島市）」で、地域の皆さまとの協働による環境教育のフィールドや地域の憩いの場となる森づくり「九電みらいの森プロジェクト」に取り組んでいます。

### 【いさはや九電みらいの森】

長崎県の森づくり制度に基づき、長崎県、諫早市及び当財団の三者で締結した協定（2022年1月）を踏まえ、長崎県諫早市で森づくりを進めています。

2023年度までに計4,700本の植林を完了し、現在は、ボランティアや環境教育を通じて育林活動を実施しています。

今年6月には、育林ボランティア活動として、地域の皆さまなどとの協働により、森や園路の除草等を行いました（112名参加）。



ボランティア活動の様子(6月)

### 【きりしま九電みらいの森】

今年1月に霧島市、鹿児島県、九州電力(株)鹿児島支店、当財団の四者で「森づくり協定」を締結し、鹿児島県霧島市で森づくりを進めています。

3月からは、環境教育及び地域の憩いの場となる森づくりに向け、ウッドデッキの設置や園路の造成などのフィールド整備を行うとともに、8月には初めてのボランティア活動として、自治体や地域の皆さま、九電グループ従業員及びご家族により、園路沿いの土留めとなる「しがらみづくり」を実施しました（91名参加）。



ボランティア活動の様子(8月)

# 坊ガツル湿原一帯での環境保全活動

## 【坊ガツル湿原野焼き・希少植物保護活動】

ラムサール条約に登録されている「坊ガツル湿原（大分県竹田市）」。「かつて、野焼きが途絶えて荒廃が進んでいましたが、元の美しい自然や風景を取り戻すべく、1999年に地元自治体や企業、団体等と「坊ガツル野焼き実行委員会」を立ち上げ、今年、再開から25回目の野焼きを実施しました（3月）。

また、九電グループの従業員等を中心に、湿原に植生する希少植物を保護する活動も施しました（7月）。

※ 野焼きは、害虫を駆除し植物の芽吹きを促すことを目的に湿原を焼き払う作業です

【坊ガツル湿原野焼き】



本焼き(3月)



輪地切り(8月)



輪地焼き(9月)

【希少植物保護活動】



(7月)

## 【ミヤマキリシマ植生保護活動】

九州各地の高山に自生する「ミヤマキリシマ」は、世界でも九州にしか分布していない希少な植物です。大分県くじゅう連山の1つ「平治岳」も有名なスポットであり、5月下旬～6月上旬に一斉に花を咲かせる様子は、ピンク色の絨毯のようでとても美しく、迫力があります。

しかし、近年、ノリウツギ等の樹木に被圧され、くじゅう地域でも数が減ってきています。この希少で美しい花を守るため、当財団は、地域の皆さまとともに生育の支障となる木の伐採や登山道を整備する植生保護活動を行いました（4月、11月）。



ミヤマキリシマの開花の様子



支障木の伐採(4・11月)



登山道整備(4・11月)

## 【活動実績】

		内 容	実施月	参加者数
坊ガツル湿原(約53ha)				
野焼き活動	本焼き	防火帯の内側に火を入れ、湿原一帯を焼く	3月	140名
		立中山山頂における野焼き勉強会		31名
	輪地切り	野焼きの際の延焼防止のための防火帯づくり	8月	150名
	輪地焼き	防火帯に新芽が出ないように、刈った草を焼き払う	9月	116名
希少植物保護活動		湿原の希少植物保護のため、外来種植物を除去	7月	142名
平治岳(約20ha)				
ミヤマキリシマ植生保護活動	春	ミヤマキリシマの植生を保護するため、生育に支障となる低木等を伐採。あわせて登山道整備も実施	4月	92名
	秋		11月	59名
合 計				730名

# 環境教育

## 【現地体験型環境教育】

子どもたちの環境保全意識を啓発するため、「くじゅう九電の森（大分県由布市）」、「いさはや九電みらいの森（長崎県諫早市）」、「きりしま九電みらいの森（鹿児島県霧島市）」にて、間伐や森林観察などの体験型環境教育を行っています。

## 【デジタル環境教育】

ヴァーチャルリアリティ（VR）機器を活用し、学校にいなから森林管理の一つである“間伐”を体験できる「デジタル環境教育」を実施するほか、九州各地で開催されるイベント等にも出展し、教育機会の拡大に努めています。

## 【活動実績】

活動内容	実施月	実施校	回数	人数
くじゅう九電の森(学校向け)	5,9,10月	7校	5回	276名
くじゅう九電の森(親子向け等)	5,8月	—	2回	82名
いさはや九電みらいの森(学校向け)	10,11月	9校	10回	434名
いさはや九電みらいの森(親子向け等)	6月	—	2回	95名
きりしま九電みらいの森(学校向け)	3,5,9月	5校	4回	73名
きりしま九電みらいの森(親子向け等)	9,10月	—	3回	186名
デジタル環境教育	通年	—	39回	1,147名
合計	—	—	65回	2,293名



くじゅう九電の森



いさはや九電みらいの森



きりしま九電みらいの森



デジタル環境教育  
(エネIKUイベントの様子)

## 次世代育成支援活動

九州各地で「子どもたちの自然を大切に育てる心を育む活動」に取り組むNPO団体等に対する助成を行っており、2024年度は18団体に助成しています。

※2025年度の助成団体については、今年11月～12月に募集



助成先団体の活動の様子

## 情報発信

当財団の取り組みを知っていただくために、活動の様子をHPやSNSで情報発信しています。

また、九州の豊かな自然を再認識することで環境保全意識を醸成してもらうことを目的に、Instagramのフォトコンテストを開催しており、応募作品の一部は「みらいの森を育てようプラン」の寄附のお礼としてお送りするカレンダーに掲載していますのでご覧ください。

是非ご覧ください♪



Facebook



Instagram